

個人投資家向け会社説明資料 (証券コード：7701)

株式会社島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと異なる結果となることがあります。

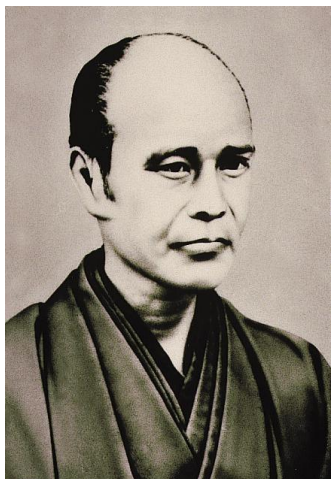
1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

会社概要

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章 : 地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します



初代島津源蔵
(1839-1894)

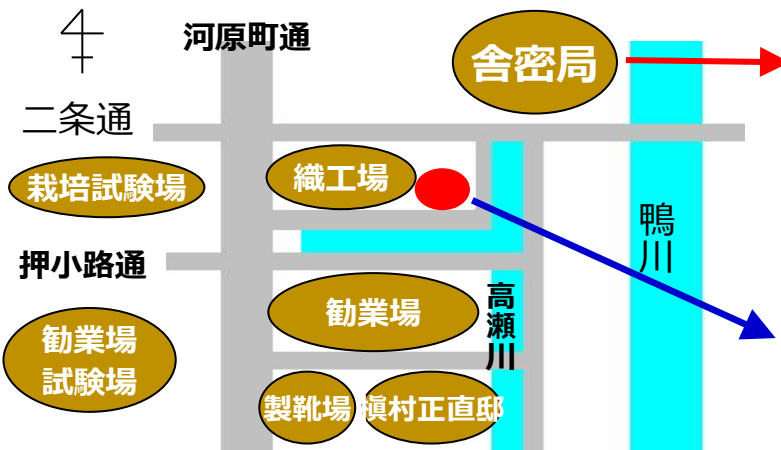
社名・所在地	株式会社 島津製作所 京都市中京区西ノ京桑原町1
創業	1875年（明治8年）3月
資本金	266億円
売上高	5,390億円
従業員	連結14,481名
連結子会社数	国内23社 海外58社（2025年3月31日現在）



本社・三条工場（京都市）

西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1868年	元年	明治維新以降、廃仏毀釈などで仏具の需要が低迷	京都府庁 開庁
1869年	2年	コア技術 仏具製造で培われた製造技術	日本最初の小学校設立
1870年	3年	↓	京都舎密局 開局
1875年	8年	島津製作所 創業 (理化学器械の製造)	榎村正直氏が京都府知事に就任
1877年	10年	榎村京都府知事の要請により、 軽気球飛揚	京都 ~ 神戸間に鉄道開通 (京都駅の開設)

科学技術の集積地



(1834-1896)



(1839-1894)



西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1895年	28年	科学標本部を新設	レントゲン博士がX線を発見
1896年	29年	X線写真の撮影に成功 (第三高等学校(京都大学の前身)と共同開発)	第1回オリンピック開催 (アテネ)
1897年	30年	蓄電池 (GSバッテリー) の製造開始	京都帝国大学 設立
		教育用X線装置の開発	
1909年	42年	国産初の医療用X線装置の開発	

初期の鉛蓄電池



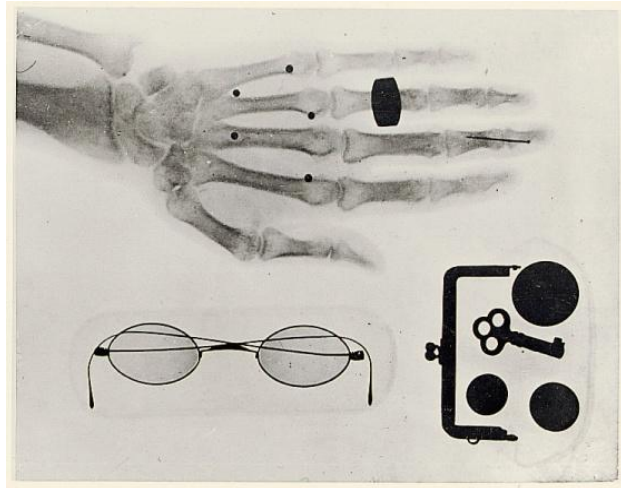
1904年頃のGS蓄電池



二代 源蔵
(1869-1951)



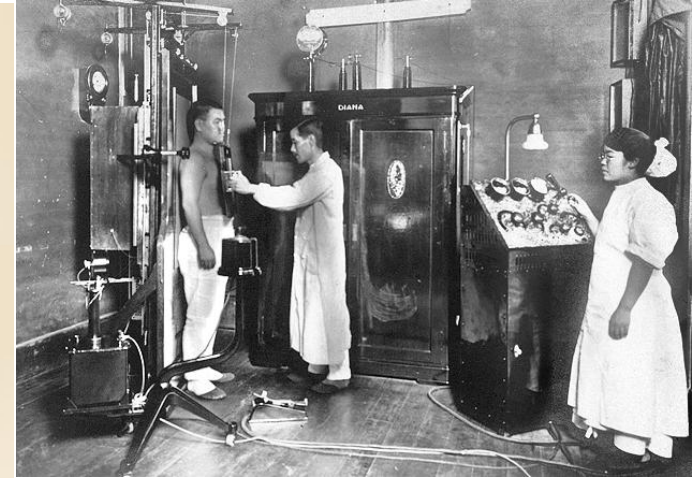
第三高等学校
(京都大学の前身)
村岡教授
(1853-1929)



初期のX線写真(1896)

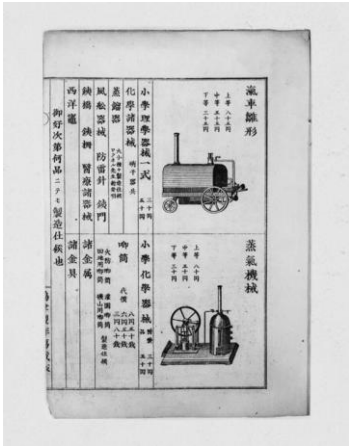


教育用X線装置
(1897)



医療用X線装置撮影の様子

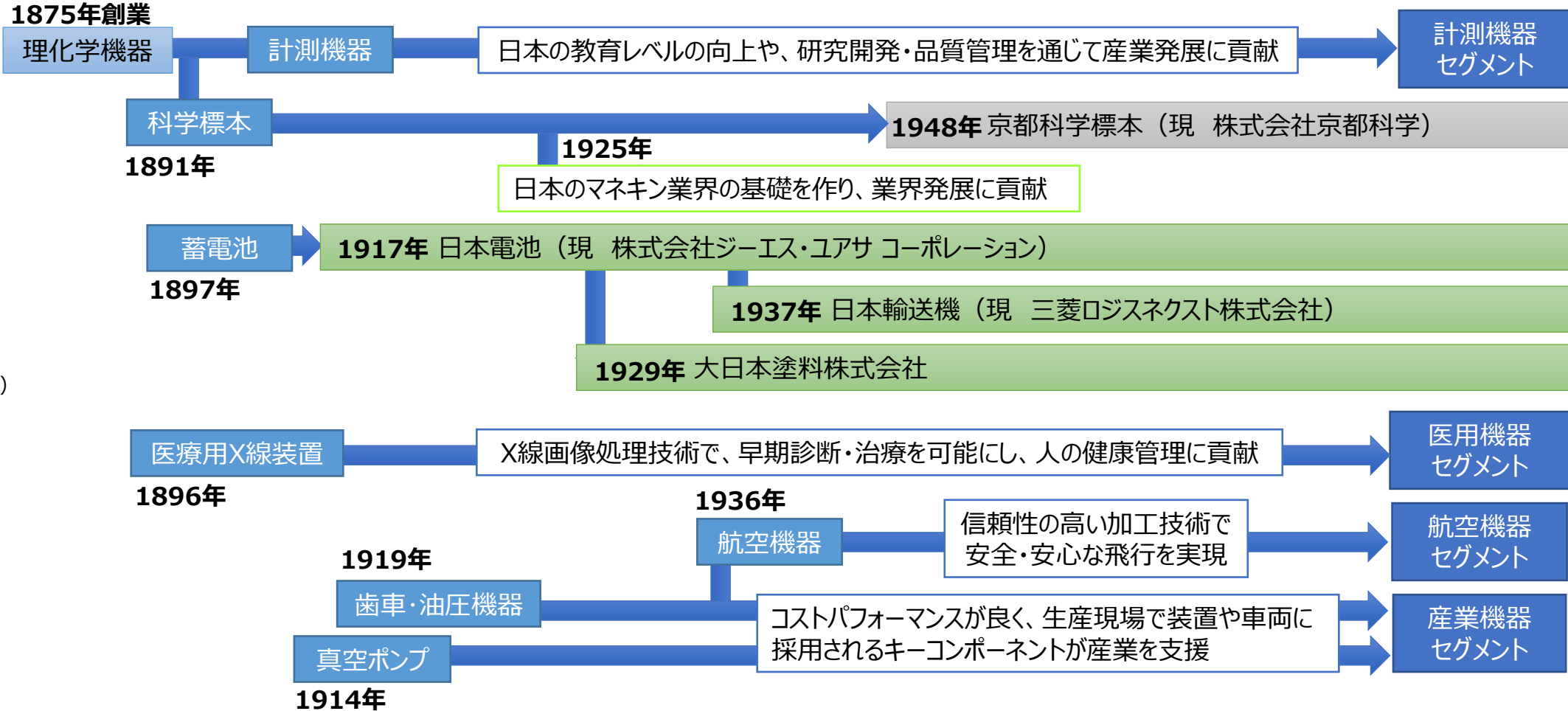
■ 二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化器械目録表
(島津製作所最古の製品カタログ)



二代 源蔵
(1869-1951)



※(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト(株)、大日本塗料(株)、(株)京都科学はグループ会社ではございません

会社概要 グローバル事業展開

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

■ 27か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2024年度の海外売上高比率は56%）

販売・サービス体制

- 地域統括
- 販売・サービス



製造・研究開発体制

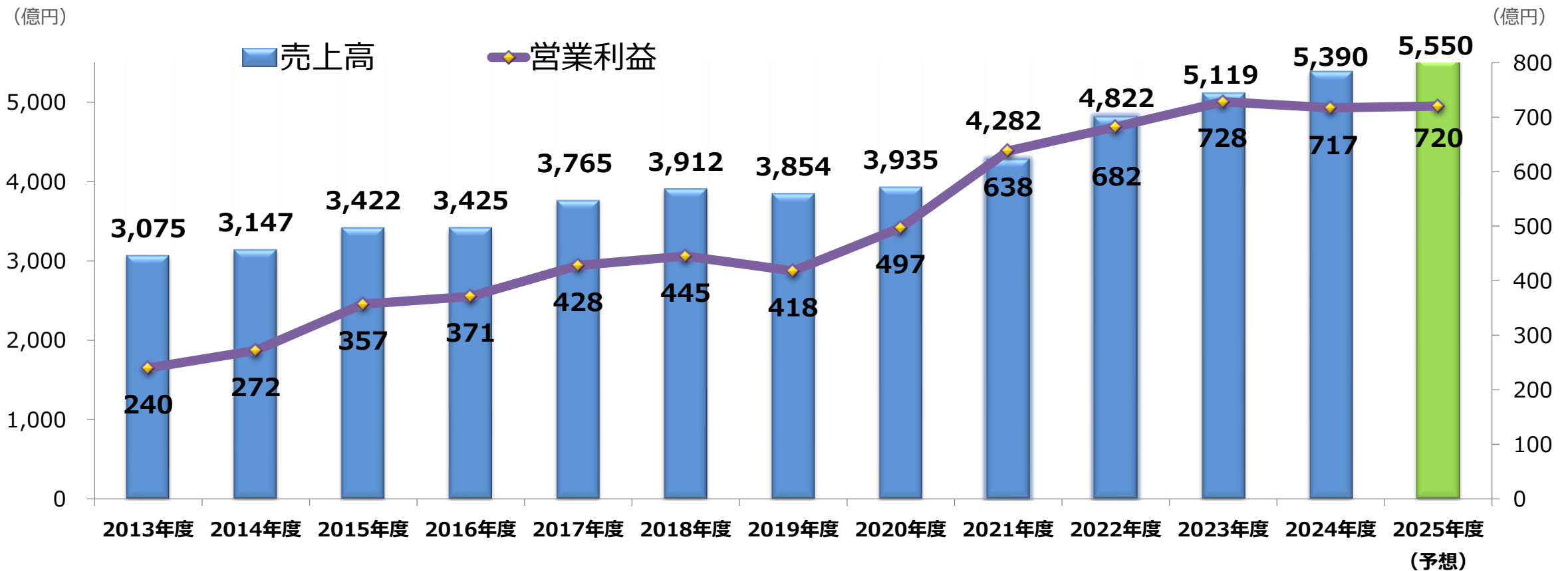
- アプリケーション開発
- 製造
- 研究・開発



連結子会社数 : 海外58社・国内23社
※2025年3月31日現在

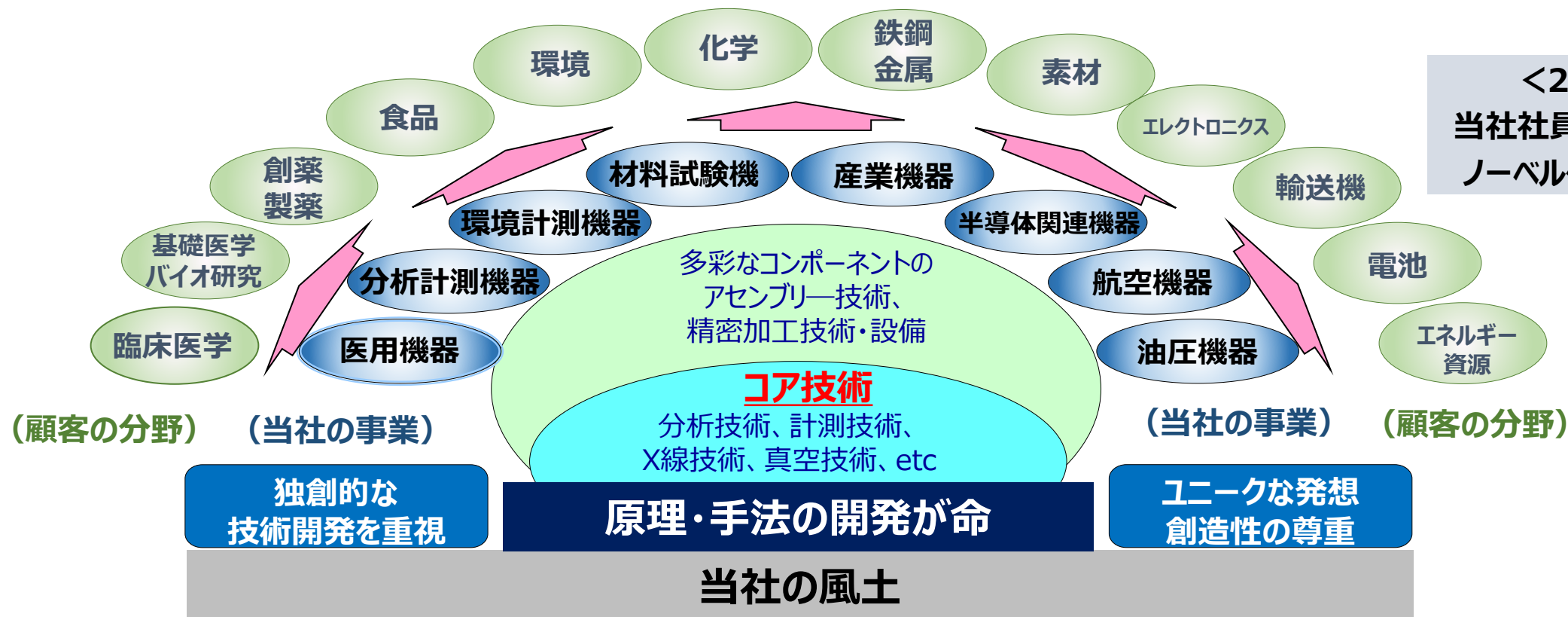
売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率（2015から2024年度までのCAGR）は、売上高5%、営業利益8%
- 2025年度：中間期決算発表にて業績予想を上方修正。売上高は6期連続で過去最高を目指す



1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

- 時代が変わっても「科学技術で社会に貢献する」の社是に忠実に行動
- ニッチであっても、様々な分野の顧客の要請に真摯に応える姿勢
- 産業の進歩・発展に対応し、貢献するための技術開発力の追求



- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

アプリケーション 技術開発

特許保有件数
8,554件
 (うち国内4,645件、
 海外3,909件)
 2024年度実績

製品・サービス
 の提供



Shimadzu Tokyo Innovation Plaza



ニーズ

研究開発費
289億円
 対売上高比率5.4%
 2024年度実績

基盤技術研究

製品・ サービス開発



ヘルスケアR&Dセンター



基礎研究



Shimadzu みらい共創ラボ

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
- 3. 事業概要**
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

事業概要 4つの事業セグメント

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

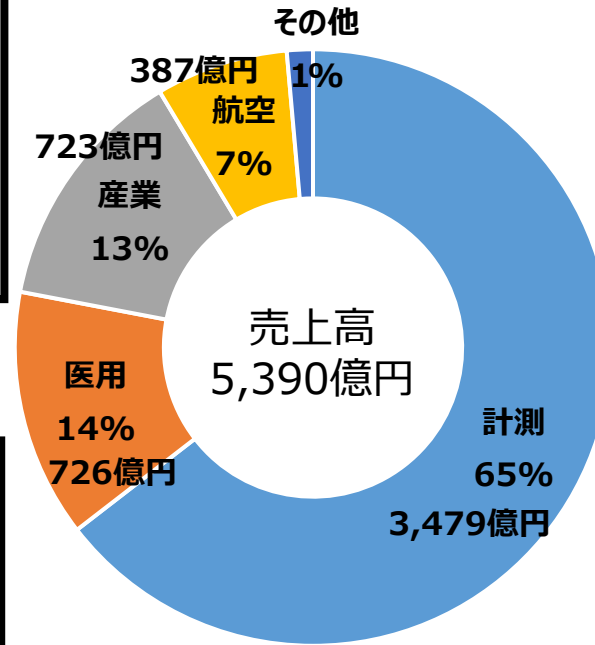
■ 計測・医用・産業・航空の4つの事業を展開

航空機器

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献

コントロールバルブモジュール
パワードライブユニットギヤボックス
アングルギヤボックス
フラップアクチュエータ
スタビライザトリムアクチュエータ

フライトコントロールシステム



計測機器

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献

高速液体クロマトグラフ質量分析システム

産業機器

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献

ターボ分子ポンプ (真空ポンプ)
油圧ギヤポンプ

医用機器

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献

血管撮影システム

心臓 腹部

2024年度
セグメント別売上高比率

■ 最先端の分析技術で医薬、環境、ライフサイエンスなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

社会課題

ヘルスケア (ライフサイエンス、メドテック)

- ・少子高齢化による医療、社会保障費の負担増
- ・病気の超早期診断、予防診断、感染症対策 (予防・迅速診断)

グリーン (GX)

カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギーの活用拡大

マテリアル

自動車や航空機など輸送機における高機能材料の信頼性向上を支援

インダストリー

提供価値

- ・認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等、人々の健康維持に貢献
- ・高度な分析技術により、新薬開発や生産性向上に貢献



高速液体クロマトグラフ質量分析システム

残留農薬や水質検査、包装容器に含まれる規制物質の評価など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与

グリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献

各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、主に輸送機分野で燃費改善や安全性確保のための新素材開発に貢献

新型コロナウイルス検出試薬キットなどの感染症の検査技術開発や、データ管理、ウイルスモニタリングなどの感染症拡大防止に貢献



全自動PCR検査装置



新型コロナウイルス検査試薬



ガスクロマトグラフ



オンラインTOC計



エネルギー分散型蛍光X線分析装置



精密万能試験機



マイクロフォーカスX線CTシステム

- 2024年度：売上高はヘルスケア、グリーン向けが伸長し5期連続で過去最高を更新
- 2025年度：ヘルスケア、グリーン、マテリアル向け新製品拡販で、6期連続過去最高売上高更新を目指す

■顧客

製薬・食品・自動車・化学会社、医療機関、受託分析会社、
大学や政府の研究機関

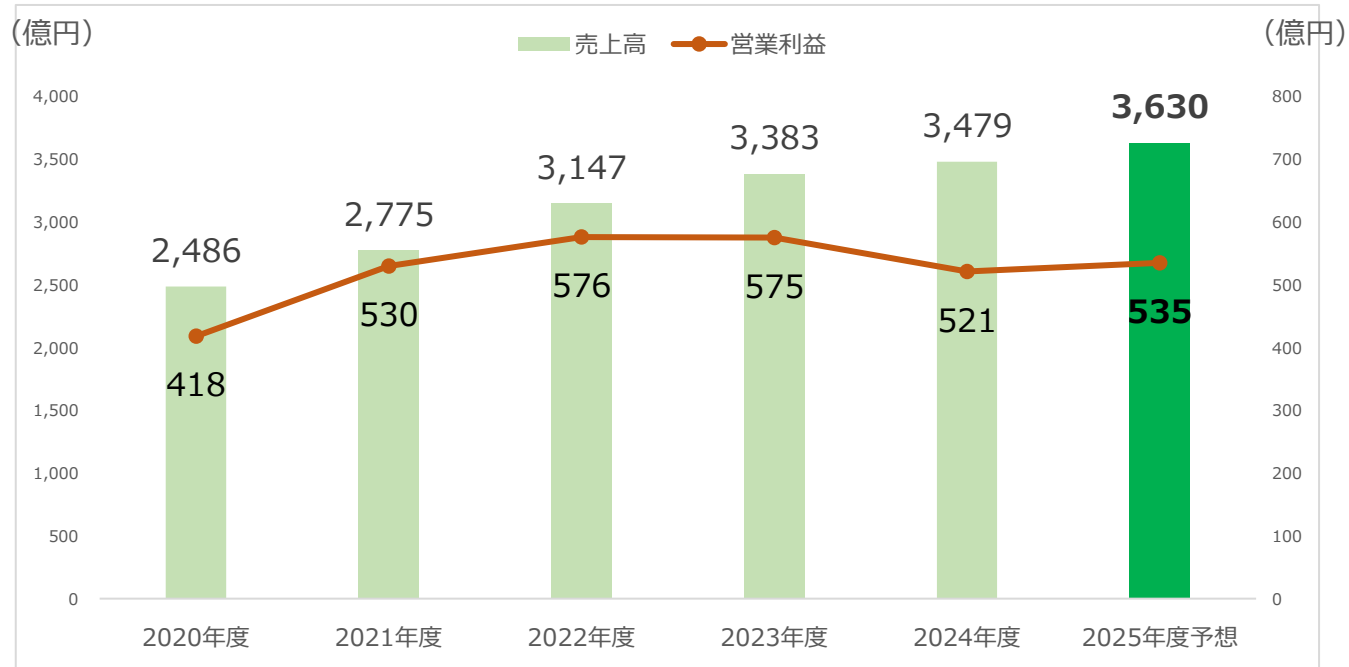
■市場

市場規模830億ドル（FY2024）。年成長率4%（FY2024-2029）
装置とリカーリング（メンテナンス・消耗品等）の比率は5：5

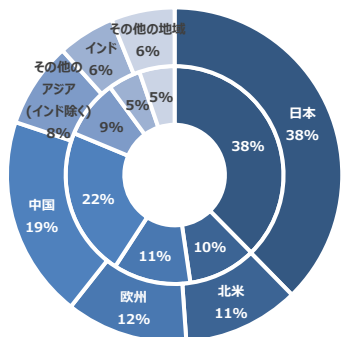
■競合（主に米国企業）

Thermo Fisher Scientific, Inc.、Agilent Technologies, Inc
Danaher Corporation、Waters Corporation

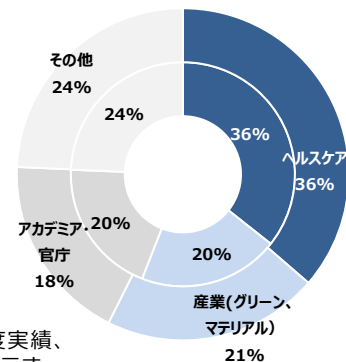
業績推移



地域別売上比率



市場別売上比率



※ 円グラフ外側は2024年度実績、
内側は2023年度実績を示す。

- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

社会課題

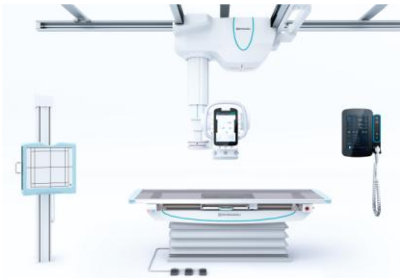
健康に生活を送ることができる「健康寿命の延伸」。様々な疾患の早期発見と、疾患の原因をより詳細に解明する検査技術の高度化への対応

提供価値

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用。近年は画像処理アプリケーションも広がり、その用途が拡大

一般撮影システム



病棟のベッドサイドや院内の様々な場所でX線撮影ができ、その場で迅速な容態確認が可能。感染症や災害時のX線画像診断にも使用



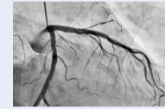
回診用X線撮影装置

心疾患・脳血管疾患の カテーテル治療支援

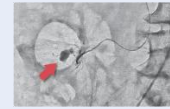


血管撮影システム

SCORE PRO Advance



医療デバイスの視認性向上
SCORE RSM

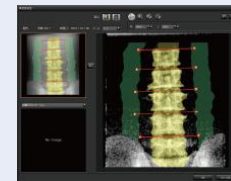


体動に強く。低被ばく撮影が可能

高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応



X線TVシステム



骨密度計測

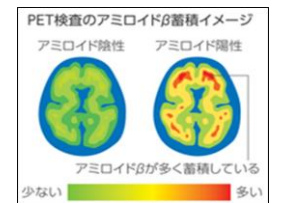
心の病の診断や脳卒中 リハビリテーションで活躍



近赤外光イメージング装置

近赤外光で脳活動を計測し、うつ病の診断補助が可能。また脳活動の可視化で、リハビリテーションを支援

頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

- 2024年度：北米で新製品のX線機種、東南アジア・インドで血管撮影システムが増加し、全体では増収
- 2025年度：アジア地域を除く各地で市況回復遅れを予想し、売上高・営業利益とも減少と見込む

■ 顧客

病院などの医療機関

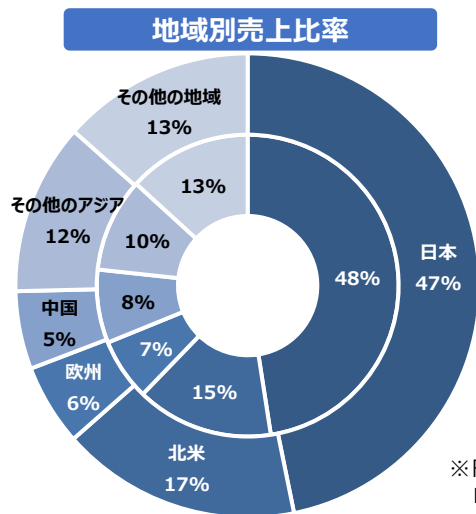
■ 市場

X線診断装置は約70億ドル。年成長率3-4%。

国別で医用機器としての認証が必要。単一国家で人口が多い米国、中国、日本が重要地域

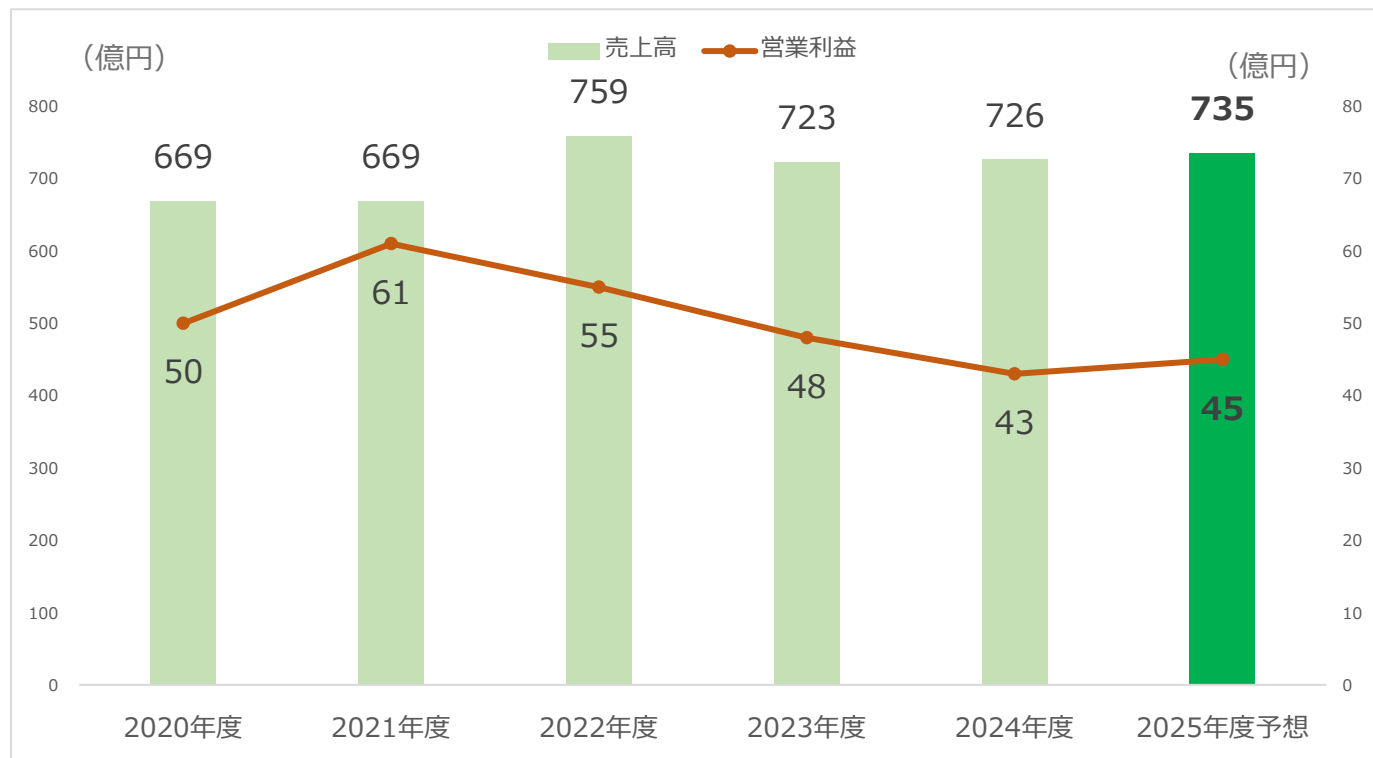
■ 競合

Koninklijke Philips N.V.、Siemens Healthineers AG、GE Healthcare、キヤノン(株)、富士フイルム(株)



※円グラフ外側は2024年度実績、内側は2023年度実績を示す

業績推移



- ターボ分子ポンプや高度な油圧技術を駆使した機器・部品など、高品質、高性能なキーコンポーネントを提供し、産業の発展に貢献

社会課題

持続可能かつレジリエント（強靱）なインフラ開発。脱炭素社会の実現に向けた世界的な取り組み

提供価値

半導体やディスプレイの製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ
主に半導体製造装置に搭載

ターボ分子ポンプ



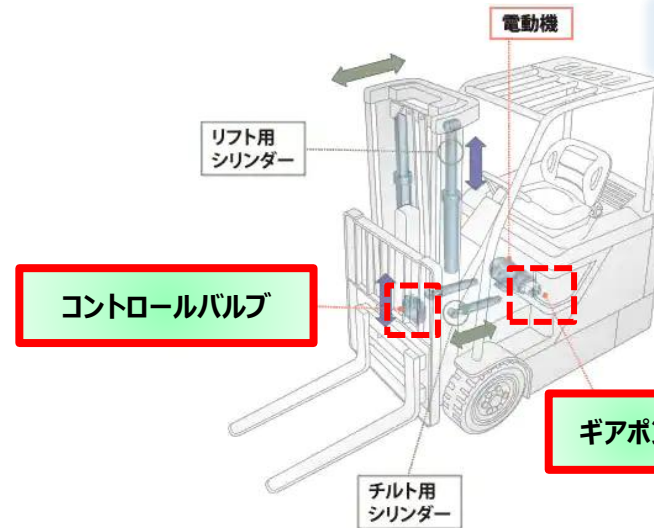
次世代モビリティ分野の発展を支える



車載部品向けセラミックス素材の
焼結に利用

工業炉

産業車両・建機・農機の油圧動力源



油圧ギアポンプの
低騒音・低振動を
実現

コントロールバルブ

ギアポンプ

油圧ギアポンプからの作動油の方向、
圧力、流量を調整



油圧ギアポンプ



油圧コントロール
バルブ

- 2024年度：半導体製造装置向けターボ分子ポンプや工業炉の増加により、2期連続で過去最高業績を更新
- 2025年度：EV向けセラミック製造用工業炉の苦戦を予想し、売上高・営業利益とも減少と見込む

ターボ分子ポンプ

■ 顧客

半導体製造装置メーカー、フラットパネルディスプレイメーカー

■ 市場

半導体製造装置需要と連動

■ 特徴

ターボ分子ポンプの羽根のクリーニングによるリカーリング収益も

油圧機器

■ 顧客

フォークリフトメーカー、小型建機メーカー、農業機械メーカー

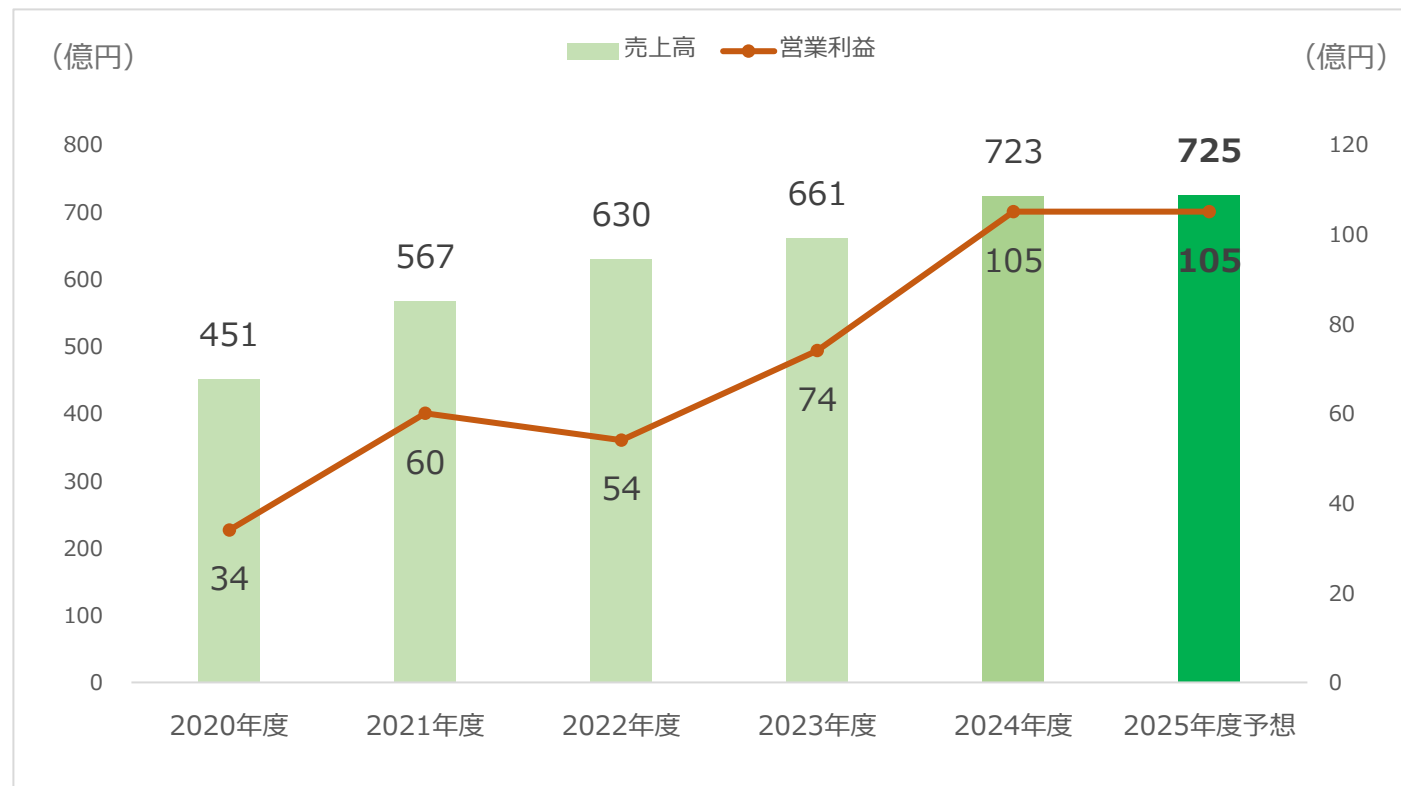
■ 市場

物流（産業車両）・建設機械市場・農業機械市場と連動

■ 特徴

フォークリフトの電動化で求められる静音性の高さに強み

業績推移



- 先端技術と高度な精密加工技術を統合した搭載機器・部品やシステムを提供し、安心・安全な社会の実現に貢献
- 防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間＝3：1）

社会課題

社会インフラの強靱化。モビリティ分野で、安全性、環境保全確保、快適性の追求

提供価値

エアマネジメントシステム

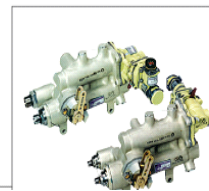
航空機内の温度と圧力を調整するエアマネジメントシステム。機能環境を統合的に最適化する解析・評価能力で快適環境の提供に貢献



高品質なメカニカル技術や信頼性の電子制御技術で安全な飛行に貢献

パワー・ドライブ・
ユニット・ギヤボックス

フライトコントロールシステム



コントロール・バルブ・
モジュール

コックピット・ディスプレイ・システム



ヘルメット
マウンテッド
ディスプレイ

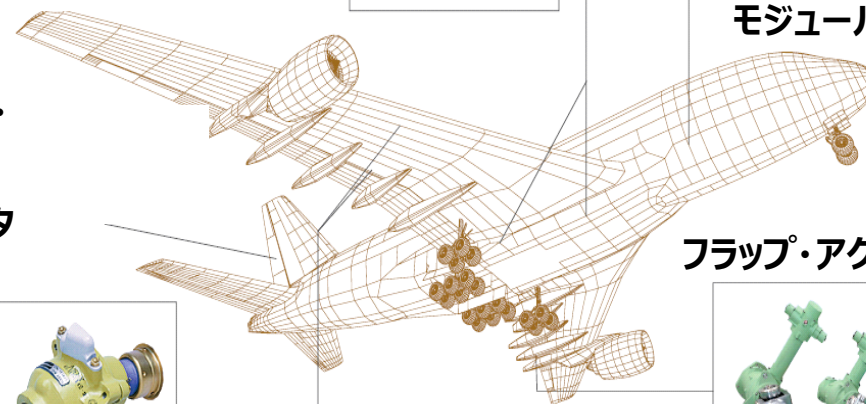


ヘッドダウン
ディスプレイ



高度・速度・方位などの飛行情報を投影する装置。高度な電子技術と光学技術を駆使し、パイロットの負荷軽減、飛行安全に貢献

スタビライザ・
トリム・
アクチュエータ



アングル・ギヤボックス

フラップ・アクチュエータ



- 2024年度：防衛事業が伸長し、売上高は大きく拡大
- 2025年度：好調な需要を背景に増収を予想するが、防衛案件が増加することから営業利益は減少と見込む

防衛分野

■ 顧客

防衛省、機体メーカー、エンジンメーカー

■ 市場

国家の安全保障に係る事業のため、景気に左右されない

民間航空機分野

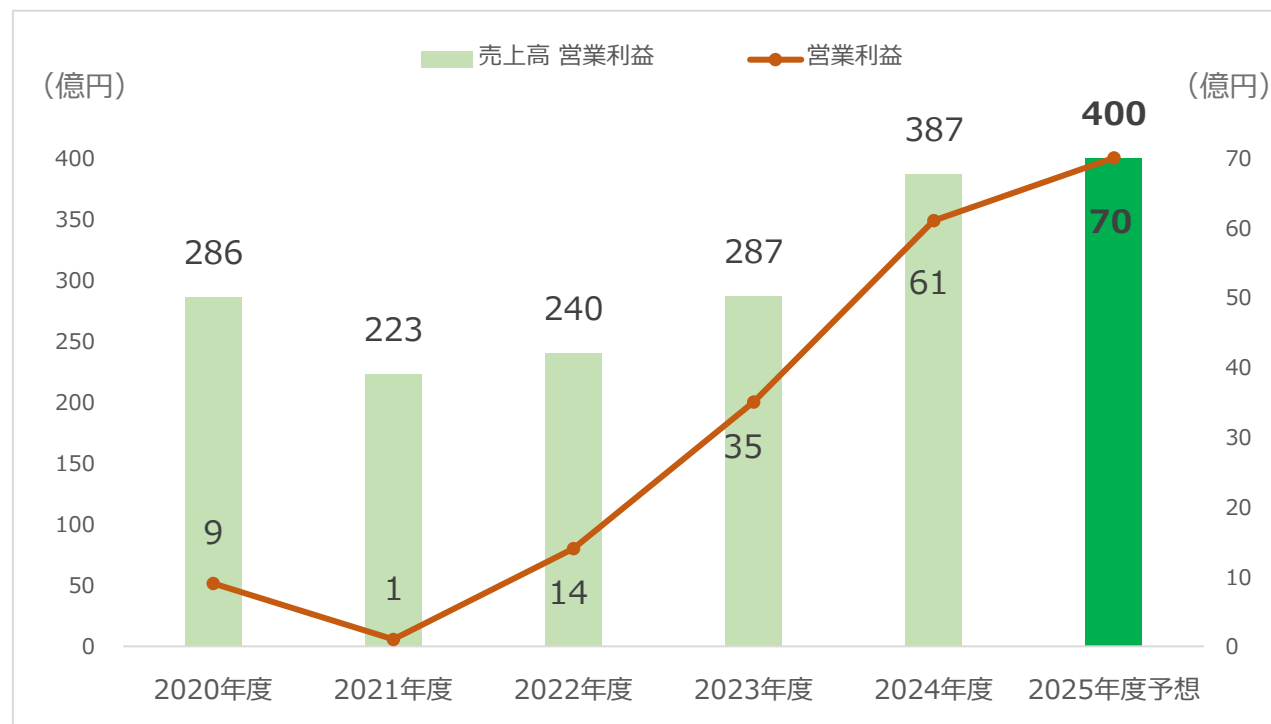
■ 顧客

海外機体メーカー、航空機用エンジンメーカー、航空会社など

■ 市場

- ・航空旅客需要は増加
- ・国際基準に照らした認証の取得や、品質管理水準の要求が高いため、開発・製造に高度な技術力が必要

業績推移



1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
- 4. 中期経営計画**
5. ESGの取り組み
6. その他

- 新型コロナウイルスとの闘いを通して、「人の命と健康」への意識が高まっている
- サステナビリティへの関心が高まり、「地球の健康」が重要社会課題に

ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

マテリアル領域

産業の発展、安心・安全な社会への貢献

グリーン領域

地球の健康への貢献

インダストリー領域

プラネタリーヘルス
(人と地球の健康)の追求



社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章

- 事業拡大と、事業部の垣根を越えてトータルソリューションを提供する企業へ変革



Best for Our Customers !

お客様を中心とする事業展開へ

価値 = お客様の必要な「データ」

- お客様の必要な「データ」をお届けする
トータルソリューション提供企業
「お客様の近くで、お客様の言葉で」



製品を軸とする事業展開

価値 = 製品

- お客様の必要な「製品」をお届けする
ハード提供企業

世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベティブカンパニーへ
～技術開発力と社会実装力の両輪強化により持続的成長を果たす～

**5つの
事業戦略**

重点事業強化
LC、MS、GC、試験機、TMP

メドテック事業の強化

海外事業の拡大
- 北米強化 -

**リカーリングビジネスの
強化、拡大**

新事業・将来事業の創出

**7つの
経営基盤
強化**

ガバナンスの強化

開発スピード強化

**国際標準化・
規制対応力の強化**

グローバル製造の拡大

DX推進

人財戦略：島津人の育成

財務戦略：攻めの財務へ

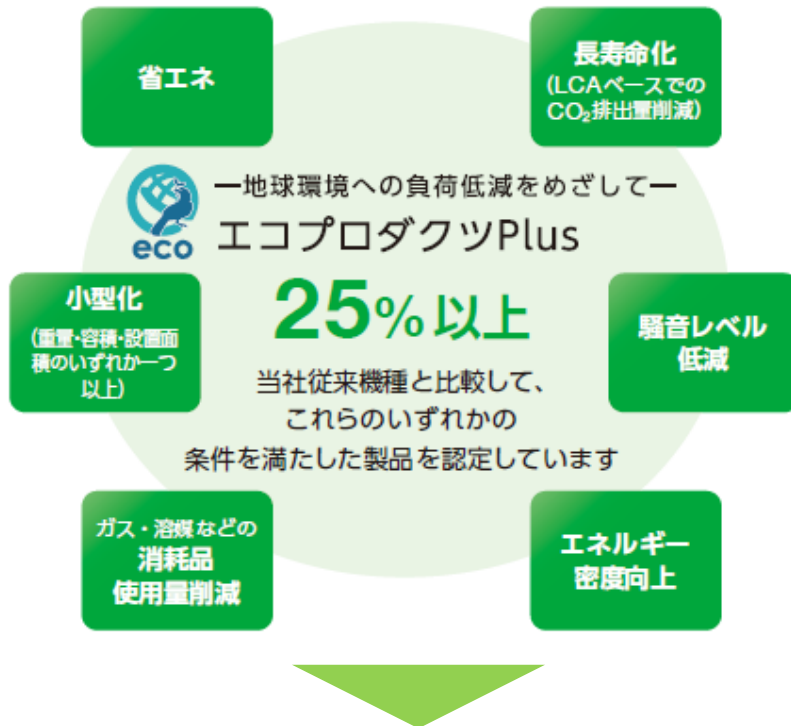
1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
- 5. ESGの取り組み**
6. その他

ESGの取り組み 「すべての製品のエコ化」を推進

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

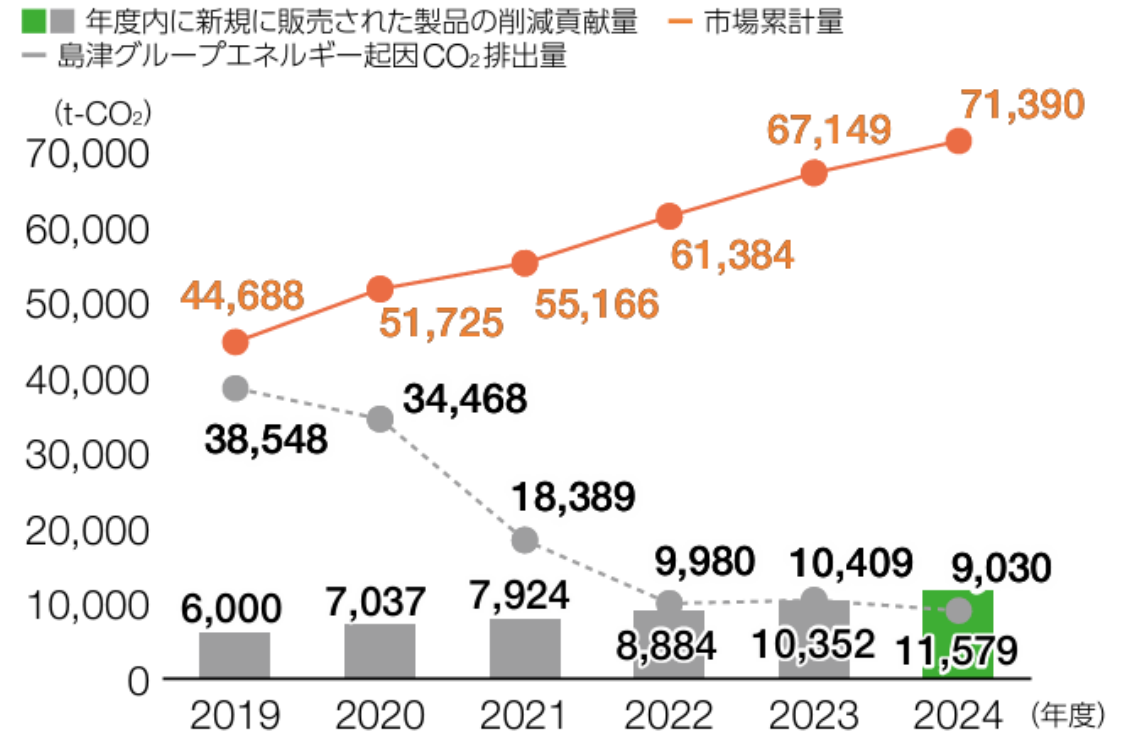
■ 地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供を推進

環境配慮認定製品エコプロダクツPlusの要件



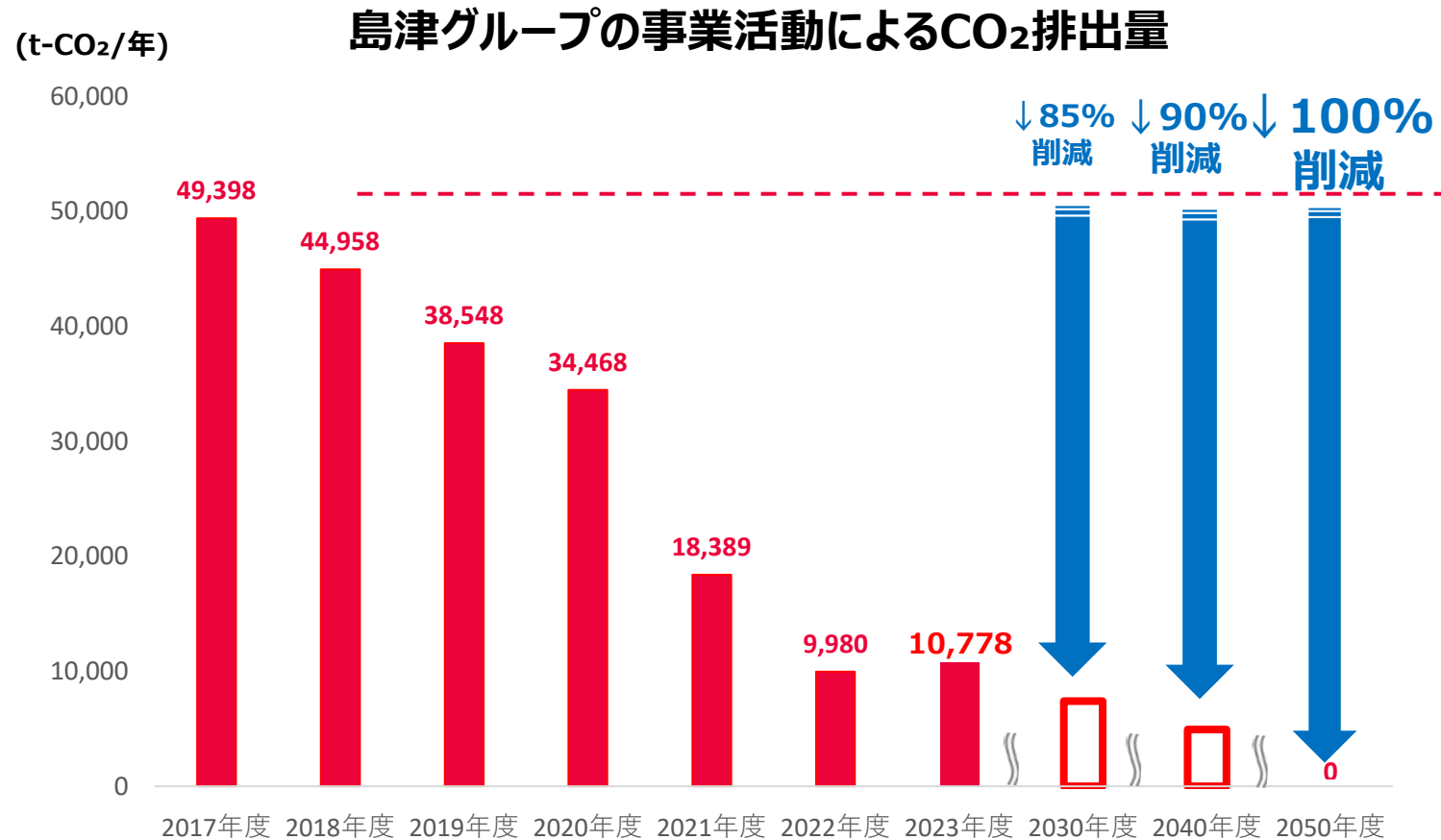
2030年度までに製品売上高の**30%**を
環境配慮認定製品エコプロダクツPlusとする

島津グループCO₂排出量とCO₂削減貢献量



※CO₂削減貢献量：当社の製品の使用により、顧客のCO₂排出量を従来よりも削減させた量のこと。
計算式 CO₂削減貢献量=従来製品のCO₂排出量(t/年)-新製品のCO₂排出量(t/年)で算出

- 2022年3月に新たなCO₂排出量削減目標を設定。2050年にCO₂排出量実質ゼロとする（2017年度比）
- 中間目標として2030年度に85%以上、2040年度に90%以上削減



2019年5月：TCFD宣言への賛同



2021年3月：RE100を宣言

RE100

CLIMATE GROUP



2022年2月：
「サプライヤーエンゲ
ージメントリーダー」に
選定



2022年10月：SBT認定を取得



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Embrace Differences, Include One and All 違いを認め、受け入れよう

島津グループには、様々な属性、視点、価値観、経験、専門性をもつ仲間がいます。私たちは社員の多様性を歓迎します。その多様性を最大限に活かすことで、すべてのステークホルダーとともにイノベーションを創造し、社会課題を解決し続けることを目指します。そのために、DE&I 推進を通して一人ひとりが社会や会社への貢献を感じ、島津グループの一員として誇りを持てる環境を構築します。



女性リーダーの育成とキャリア支援

- ・管理職一歩手前を対象としたShimadzu Women Next Career Design研修
- ・フレックス、テレワーク、時間単位年休や出産育児に関する幅広い支援制度など、女性が活躍できる環境を整備

女性管理職比率

2024年度 12.3% → 2030年度目標 15%以上

女性育休取得率*

7年連続 100%

女性の育休からの復帰率*

4年連続 100%

男性育休取得比率*

2020年度 22.7% → 2024年度 70.6%

*単体データ

■ 取締役会は多様性のある構成となっており、多角的な視点から議論し、適切な意思決定と監督を実現

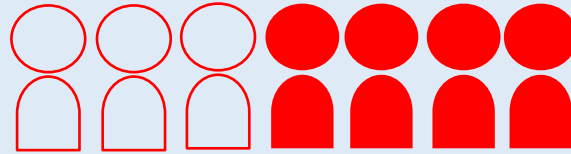
- 多様性のある構成
- 経営の透明性と客観性を確保

- 純投資目的以外で保有する株式（2025年3月31日現在）
連結総資産の6.0%
連結純資産の8.1%

取締役会の構成



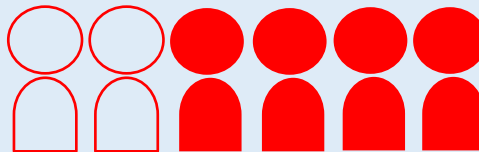
全取締役7名の**過半数**が
社外取締役



※社外取締役4名のうち、2名が女性取締役

指名・報酬委員会

委員長は社外取締役
委員の**2/3**が社外取締役



※委員6名中4名が社外取締役

政策保有株式推移

銘柄数	(銘柄)					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
非上場株式	30	30	30	30	28	30
非上場株式以外の株式	36	30	24	22	22	20

貸借対照表計上額	(百万円)					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
非上場株式	525	519	612	1,530	1,381	2,467
非上場株式以外の株式	10,418	11,907	11,405	10,426	13,054	9,261

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数へ選定
- 環境に対する様々な取り組みや、ステークホルダーとの対話の姿勢が評価されました

GPIF採用のESGインデックスへの組み入れ

GPIFが採用している次の4つのESGインデックスに採用

- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI 日本株女性活躍指数
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

TERMS AND
CONDITIONS

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

TERMS AND
CONDITIONS



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

ステークホルダーとの対話姿勢に対する評価

2021年の日本IR協議会
「IR優良企業賞」を初受賞



環境への取り組みに対する評価

CDPスコア：気候変動A- 水セキュリティB

エコ・ファースト企業

先進的な環境保全の取り組みが評価され、精密機器業界で初めて、環境大臣より認定されました。

ハビタット (JHEP) 評価認証

本社・三条工場内に「島津の森」(8,000㎡)を整備しています。公益財団法人日本生態協会のハビタット評価認証において、最高ランクのAAA評価を取得しています。



CCC B BB BBB A AA AAA



本社・三条工場内「島津の森」

1. 会社概要
2. 島津の科学技術と研究開発体制
3. 事業概要
4. 中期経営計画
5. ESGの取り組み
6. その他

その他 株価推移

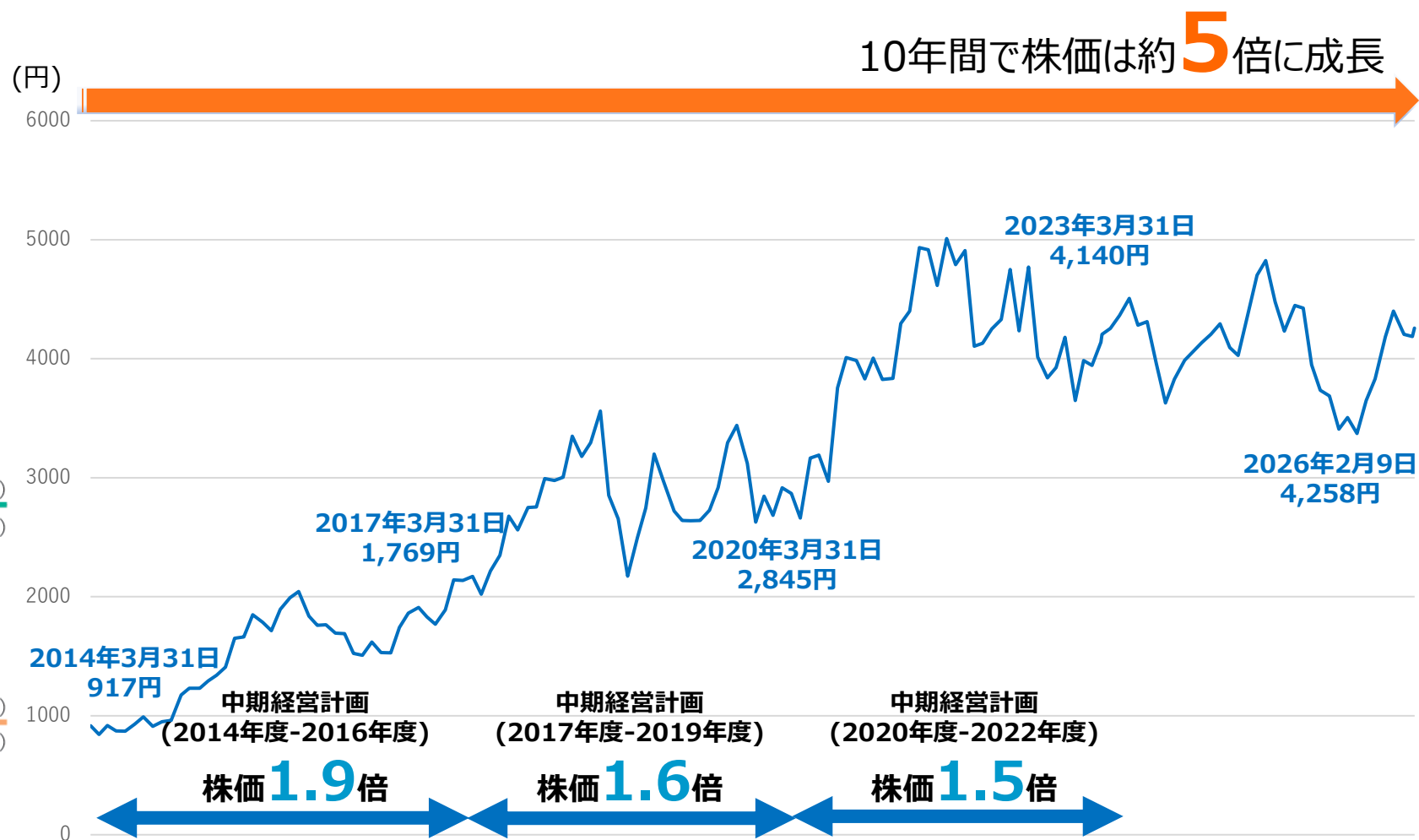
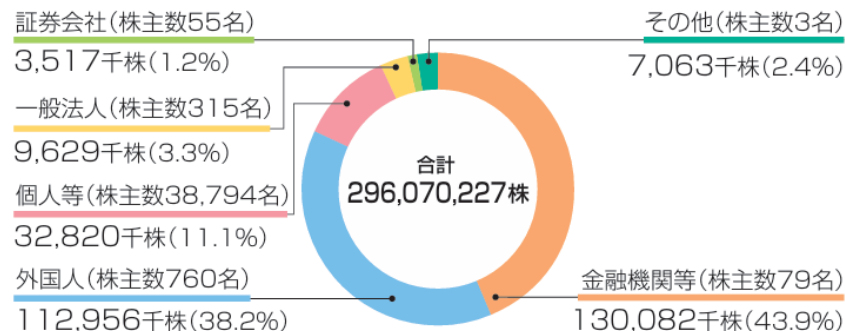
Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆2,607億円（2026年2月9日時点）

株式の状況（2025年9月30日現在）

発行可能株式総数：800,000,000株
発行済株式総数：296,070,227株
株主数：40,006名

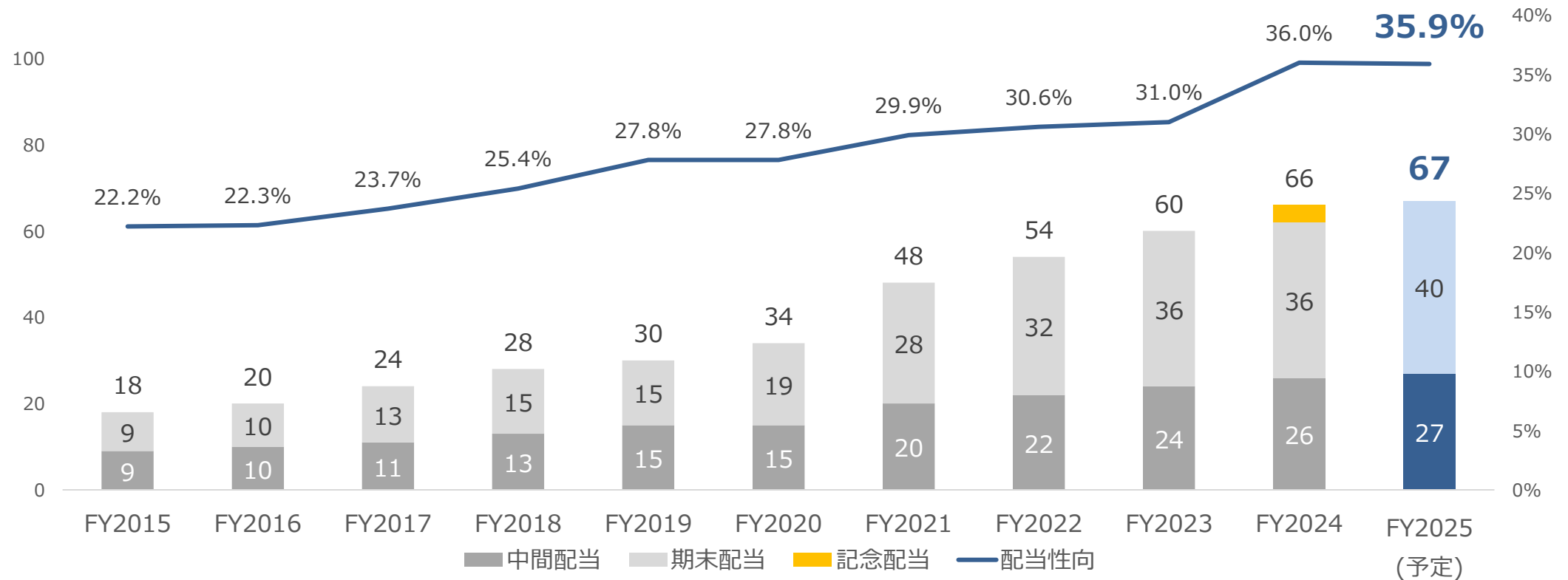
所有者別株式分布状況



その他 株主還元

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 方針 : 配当性向30%以上を維持し、継続的な株主還元を実施する予定
- 中間配当 : 前年同期より1円増配の27円
- 年間配当 : 12期連続増配となる67円を予定（期末配当は40円を予定）
- 配当性向 : 35.9%



その他 主要な経営指標等①

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
売上高	4,822億円	5,119億円	5,390億円	5,550億円
営業利益	682億円	728億円	717億円	720億円
営業利益率	14.1%	14.2%	13.3%	13.0%
当期純利益	520億円	570億円	538億円	540億円
EPS	176.64	193.54	183.55	-
ROE	12.9%	12.5%	10.9%	-
PER	23.44倍	21.86倍	20.32倍	-
PBR	2.88倍	2.53倍	2.16倍	-
研究開発費	190億円	215億円	289億円	305億円
配当金	54円	60円	66円	67円
配当性向	30.6%	31.0%	36.0%	35.9%

その他 主要な経営指標等②

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総資産	5,605億円	6,189億円	6,740億円	6,722億円
純資産合計	3,812億円	4,235億円	4,923億円	4,981億円
自己資本比率	68.0%	68.4%	73.1%	74.1%
営業活動による キャッシュフロー	634億円	483億円	301億円	520億円
投資活動による キャッシュフロー	▲60億円	▲345億円	▲160億円	▲232億円
フリーキャッシュ フロー	573億円	138億円	141億円	288億円
財務活動による キャッシュフロー	▲157億円	▲194億円	▲211億円	▲484億円
設備投資	164億円	225億円	225億円	229億円
減価償却	162億円	175億円	186億円	199億円



SHIMADZU

Excellence in Science

ブランドステートメント “Excellence in Science”

私たちSHIMADZUグループは、世界中のお客様がさまざまな新製品を開発するために、また環境の保全や改善のために、あるいは人々の健康や暮らしをよりよくするために、製品やサービスをご提供してまいりました。このブランドステートメントは、その誇りを胸に刻み、さらに優れた技術・製品・サービスをご提供できるよう、いっそうの技術の研鑽、知識の集積につとめ、「科学において卓越した存在」と認められるよう、社会と自らにコミットするものです。

お問い合わせ先：

(株)島津製作所 コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp